

2009.01.25 聖別会

# IMMANUEL

インマヌエル  
中目黒キリスト教会  
聖別会マンスリー



<今日から、アラン・カページ著の「弟子の道」をテキストに新シリーズを始めます。乞ご期待>

キリストの弟子となる①

## 「神の民となる」

テキスト：「もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての国々の民の中にあつて、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。」(出 19:5, 6)

はじめに：

「キリストの弟子とは、キリストに従っていく者であり、そうすることによってキリストの似姿に成長していくものである。」(3)

弟子の道は、キリストによって示されたものではあるが、旧約にその「根」を見出す。その基本形はシナイ山における契約である。

## 1. 契約の基礎

- ・神がその民をエジプトの苦役から贖い出された。
- ・それは生贄を通してである(恵による救いの絵)。
- ・その贖いを受け入れて「神の民として生きる」ことを選択することが「契約」である。

## 2. 契約の目的

- ①神の宝となる＝個人的・人格的關係に入る。
- ②祭司の王国＝神と人との仲介者となる(神と共に時を過ごし、神の言葉を伝える；人々と共に時を過ごし、民が神の前に出る助けをする)。
- ③聖なる国民＝神の聖さを分け与えられる(聖い神に似たものとなる)。

### 3. 契約を達成する手段

- ① 神の權威の下に生きる＝それは「十戒」をはじめとする律法の規定に従って生きることを意味していた。民はそれに自発的に応答した(出 24:3)。
- ② 交わりに生きる＝神に従おうとするほかの人々との交わりに生きること。交わりは、神の本性(三位一体)であり、人間の本性(家庭や社会)でもある。
- ③ 信仰によって生きる＝神の僕であるモーセを信じること(出 19:9)はその第一歩であるが、神ご自身へのより深い信頼が求められている。

### 4. 契約の中心：

神の個人的臨在を捉えそのお方を意識しながら歩むこと。神は超越的(transcendent)であり、同時に内在的(immanent)であられる。

### 終わりに：

私達は、キリストの完全な贖いに基づく新しい契約の民であることを感謝しよう(Ⅰペテロ 2:5-10)。

<テーマソング> 「弟子となし給え」(新聖歌 404)

- ① 弟子となし給え わが主よわが主よ  
弟子となし給え わが主よ  
心の底より弟子となし給え わが主よ
- ② 愛を増し給え わが主よわが主よ
- ③ きよくなし給え わが主よわが主よ
- ④ 主をば倣いたし わが主よわが主よ